

表1 子どもの定期予防接種の種類と対象

	対象疾病	ワクチン	対象期間	接種回数
集団接種	結核	BCG	1歳になる前日まで (5カ月児健診で実施)	1回
	B型肝炎	B型肝炎	1歳になる前日まで (標準:2カ月・3カ月・7~8カ月)	3回
個別接種	ヒブ感染症	ヒブ	生後2カ月~4歳児 (接種開始月齢によって接種回数は異なる)	4回
	小児の肺炎球菌感染症	小児用肺炎球菌	生後2カ月~4歳児 (接種開始月齢によって接種回数は異なる)	4回
	ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ	四種混合	生後3カ月~7歳6カ月になる前日まで	4回
	麻しん・風しん	麻しん 風しん 混合	1期 1歳児	1回
			2期 年長児(平成26年4月2日~平成27年4月1日生まれ)	1回
	水痘(水ぼうそう)	水痘	1歳~2歳児	2回
	ジフテリア、破傷風	二種混合	11歳~13歳の誕生日前日まで	1回
ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん予防)	HPV	小学6年生~高校1年生相当の女子 (現在、積極的勧奨をしていません。接種希望者は、医師に相談してください)	3回	
日本脳炎	日本脳炎	1期 生後6カ月~7歳6カ月になる前日まで (標準:1期初回 3歳児/1期追加 4歳児)	3回	
		2期 9歳~13歳の誕生日の前日まで (標準:9歳児/1期完了者)	1回	

表2 日本脳炎予防接種の特例接種対象者

生年月日	個別案内の時期	対象期間	接種回数
平成19年4月2日生まれ ~平成21年10月1日生まれ	11歳になる年度	13歳の誕生日前日まで	各4回
平成12年4月2日生まれ ~平成19年4月1日生まれ	18歳になる年度	20歳の誕生日前日まで	

・定期予防接種は、住民票のある市町村で接種するのが原則です。
 ・進学・就職などにより住民票を異動した人は、転出先の市町村役場に問い合わせください。

予防接種で病気を防ぐ

令和2年度 定期予防接種

予防接種は、感染症の流行を防いで、死亡率が高い病気や重い後遺症につながる病気の効果的な予防になります。



問い合わせ 健康推進課 (東8南13、保健福祉センター内、☎25・9720)

帯広市 子どもの予防接種

検索

子どもの定期予防接種



子どもの定期予防接種には、保健福祉センターで行う「集団接種」と、実施医療機関で行う「個別接種」があり、どちらも無料で受けることができます。(表1)

対象年齢や回数を確認

病気やワクチンの種類により、対象年齢や接種回数が異なります。集団接種の日時や会場、個別接種の実施医療機関などは、4月上旬に総合案内(市庁舎1階)や保健福祉センター、各コミセンに配置する「令和2年度健康づくりガイド子ども編」または、市ホームページなどで確認してください。乳児期に必要な予防接種が多いので、計画的に受けましょう。不明な点は、相談してください。

日本脳炎予防接種の特例

表1の1期・2期の年齢時に日本脳炎予防接種を受けられなかった人は、特例接種として無料で受けることができます。(表2)

ワクチンの安定供給のため、年齢によって案内時期が異なりますが、希望する場合は、案内の日に接種することもできます。

風しんの追加的対策



昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性は、令和3年度末まで、風しんの抗体検査・予防接種を無料で受けられます。各年度の対象者には市からクーポン券を送付します。令和2年度は、昭和41年4月2日から昭和47年4月1日生まれの人が対象です。

風しんとは

感染者のせきやくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき(飛沫)を吸い込んで感染します。小児は発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、数日で治ります。まれに、高熱や脳炎になって入院することがあります。成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など、重症化の可能性があります。

風しんに感染すると何が問題なの?

①職場や電車などが集まる場所で、多くの人に感染させる可能性があります。

*妊娠早期の妊婦に風しんを感染させると、赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。

先天性風しん症候群とは

妊娠初期(20週以前)に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性が高くなります。



※今年度の送付対象外の人でも、希望者にはクーポン券を送付しますので問い合わせください。
 ※令和元年度に発行済みのクーポン券の有効期限は、令和3年3月31日まで延長します。
 クーポン券が届いたら、まずは、風しんへの抵抗力を確認するため抗体検査を受けましょう。抵抗力が無いことがわかった場合、予防接種を受けることができます。
 詳細は市ホームページをご覧ください。ただ、健康推進課にお問い合わせください。

市長コラム

夢かなうまち おびひろ

あおおお ひろびろ
いきいき

帯広市長 米沢 則寿



皆さんは、自分たちが住むまち、帯広をひらがな四文字で表すとしたらどのように表現しますか。市では、子どもから大人まで、みんなが知っている三つのひらがなの言葉を使って、「将来のまちの姿」を「あおおお ひろびろ いきいき 未来を信じる 帯広」としました。「あおおお」は空や緑の香り、「ひろびろ」は大平原やゆとり、「いきいき」は明るさや生きがいなど、いろいろな情景や事柄が思い浮かんでくるのではないかと思います。

「未来を信じる 帯広」は、十勝・帯広で先人たちが築いてきた歴史・文化を大切に、明るく未来を信じて前向きに挑戦や行動を続ける人たちがたくさんいるまちにしたい、という思いをひと言で表せないかと考え、言葉にしたものです。

私が中学生になった時、兄が

使っていた難しそうな参考書がうらやましくて、同じ本を買ってもらったことがありましたが、いざ勉強となると、分厚くかつ難しくて開く気さえなくなりました。見かねた兄が、字が大きく要点を分かりやすくまとめた平易な参考書を選んでくれたら、理解が進み勉強が楽しくなった経験があります。役所がつくる計画や文書も、分かりづらくて読む気がしないといった印象を持つ人も多いかもしれません。また、まちづくりは、自分とはどこか遠いものだと感じる人もいるかもしれません。市民の皆さんや帯広を応援してくれる人たちが、同じ方向を向いてまちづくりを進めるには、まちの姿や考え方を、分かりやすい言葉で表すことが大切だと感じます。

「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかしく」作家の井上ひさしが文章を書くときに心掛けていたことです。複雑で多くのことを簡単な言葉で伝えることを本当に難しいですが、ものごとを突き詰めて考え、分かりやすく人の心を打つ言葉を見つけることができたら、多くの人の想像力を刺激したり、共感を生み、いつまでも人々の心に残り続けていくと思います。

4月にスタートする将来のまちの姿を掲げた、新しい「第七期総合計画」では、福祉や産業、教育など各分野において大切にしたい考え方をキャッチフレーズで分かりやすく表すなどの工夫も行いました。

新しいことを始めたい春、あおおお、ひろびろ、いきいき、するまちを目指し、ともに一歩を踏み出しませんか。